



施設名	京都国立博物館
分類	博物館
住所 1	〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
連絡先	総務課事業推進係：075-531-7504 Website：http://www.kyohaku.go.jp
施設情報	特別展示館：「明治古都館」重要文化財。テーマに応じて特別展覧会を開催する。夜はライトアップされる。 平常展示館：「平成知新館」平成26年9月13日オープン予定。テーマに応じて展示内容を変える。 敷地内：茶室「堪庵(たんあん)」、東西に庭園（屋外展示(ベンチ等あり)）、ミュージアムショップ、喫茶店等。
現在の客層	国内客がメイン。今後は海外の方も狙いたい。外国人客が増加。
研究会ねらい	オープン前の「平成知新館」特別内部視察、施設機能の説明、京都国立博物館の使命・役割説明 その他施設の利用について：茶室利用について。両展示館の貸切について。その他特別メニューについて 博物館様の対応について伺う。
研究会内容	<p><コンテンツ研究会> 参加人数約40名（ホテル・旅館、旅行会社、イベント会社、IT系事業者、公共施設運営担当者、伝統産業関係事業者、ほか）</p> <p>施設庭園紹介 あまり存在を知られていないが、桜、つつじ、藤、紅葉の季節などキレイ。 但し入館料が必要</p> <p>茶室紹介（庭付き数寄屋造り） 料金は各イベントごとに要相談。営利でない場合は半日7,000円、全日14,000円とリーズナブル。 （金額はH25.12現在） 今後さらに利用をしてもらえるよう周知に努めたい。</p> <p>京都国立博物館概要説明 同博物館の沿革や展示以外の博物館の業務内容について インハウンドの比率について：全体の入場者に比べまだ少ない。</p> <p>平成知新館（新館）紹介・内部視察 平成知新館の機能、施設概要について（特に多目的利用が可能な講堂について） 建築家・谷口吉生氏の設計：ニューヨーク近代美術館新館等を手がける。 1階は広々としたロビー。レストランを設ける予定。</p> <p>明治古都館（本館）・視察（貸切） 特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」準備、展示の工夫、展示内容についての学芸員による講義（特別対応） 建築家・片山東熊氏の設計：旧東宮御所等を手がける。</p> <p>その他 MICE・ユニークベニューとしては前向きに考えている。 ロビー、講堂など、施設利用については相談に応じる。 敷地の広さが強み。庭園で四季を楽しめ、明治から平成へと混じった建築が特徴。</p>
博物館イメージ	  <p>上：明治古都館。右：リニューアル後イメージ図。左側に見えるのが平成知新館</p>